

(別紙様式2)

普及指導員調査研究報告書

課題名：夏秋トマトの品種比較

所属名：萩農林水産事務所

担当者氏名：白石一剛、吉原茂昭、中村美子、岡田知子

<活動事例の要旨>

夏秋トマト産地である山口あぶトマト部会高俣支部を対象に、夏期の高温対策として、夏期の高温耐性が期待される2品種について、生育、着果性、耐病性等の特性を調査した。

1 普及活動の課題・目標

山口あぶトマト産地では、古くから夏秋トマトの栽培が行われているが、近年の高温により、夏場の着果不良や生育不良が多発している。

このため、近年、夏期高温耐性を有する新規品種について、既存の主力品種と比較し、その特性を明らかにすることで、品種選定の資とする。

2 普及活動の内容

(1) 調査圃場

萩市むつみ高俣地区(生産者2名のハウス)

(2) 調査内容

ア 供試品種

下表のとおり、サカタ交配の「麗月」に対し「れおん」を、タキイ種苗の「桃太郎ワンダー」に対し「桃太郎みなみ」を供試し、それぞれの特性を比較した。

氏名	B		D	
品種	麗月	れおん	桃太郎ワンダー	桃太郎みなみ
定植日	5月10日	5月10日	5月22日	5月22日
誘引方法	斜め+連続	斜め+連続	斜め	斜め
着果方法	マルハナバチ	マルハナバチ	マルハナバチ	マルハナバチ

イ 調査項目

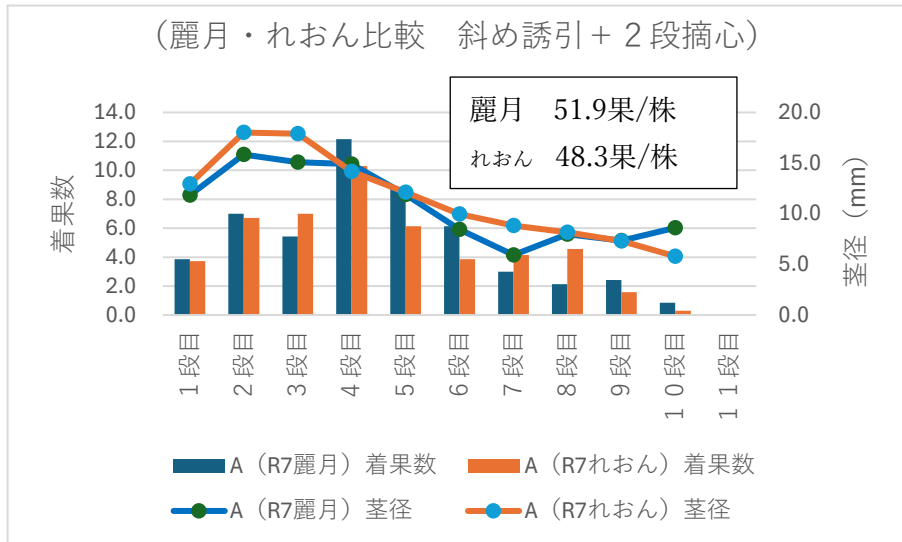
令和7年5月から9月までの期間に、2週間間隔では場内の生育中庸な連続7株を対象に、各果房の着果数及び茎径を調査した。

また、生育調査と併せて、玉太りや裂果、病害虫の発生状況等についても確認した。

(3) 調査結果

ア 「麗月」と「れおん」の品種比較

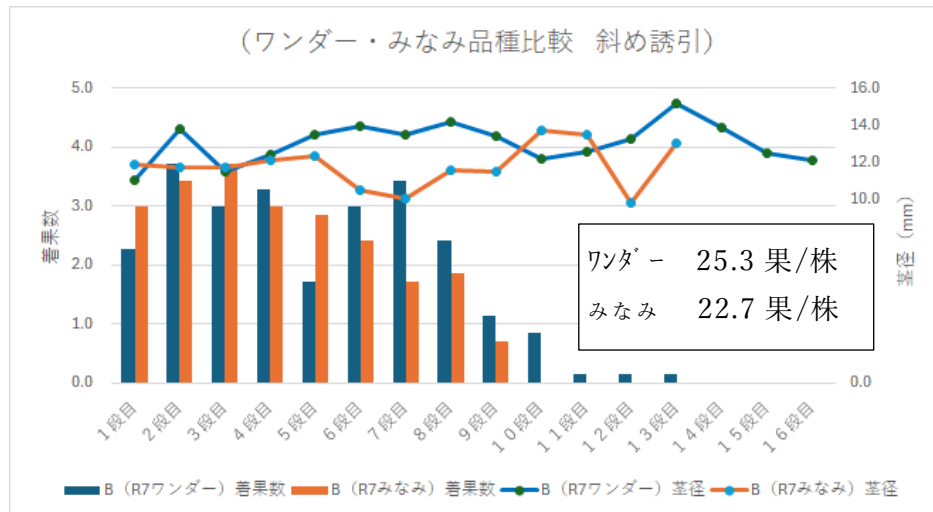
「れおん」は1～3段目までは玉太りが良好で、「麗月」と同等であった。一方、4～6段目では、着果率は「麗月」が優れた。すすかび病の発生状況は、両品種で大きな差は見られなかった。



イ 「桃太郎ワンダー」と「桃太郎みなみ」の品種比較

全期間を通じて、「桃太郎ワンダー」の方が「桃太郎みなみ」と比較して樹勢が強かった。

着果数は後半になるにつれて、「桃太郎ワンダー」が多くなった。病虫害の発生状況は、両品種柑で顕著な差は認められなかった。



3 普及活動の成果

産地の主力品種である「麗月」は、比較した「れおん」及び「桃太郎みなみ」に比べ、高温下における着果性が高いことが確認された。

一方で、病害の発生状況は大きな差はみられなかった。

また、「麗月」は樹勢が低下すると回復しにくい特性があることから、経営規模やハウス環境に応じた品種選定については、今後も検討の余地があると考えられた。

4 今後の普及活動に向けて

トマトの夏期の高温対策は全国的な課題であり、引き続き種苗会社の品種開発の状況について情報収集する。

今回の試験結果について生産者と情報共有し、次年度の部会の作付計画に応じて、異なる気象条件下での栽培管理等の状況を把握し検討する。